



2021年9月号 No.374



2021年9月号 No.374

表紙 仏花

石川 真樹 [茨城1組 福法寺]

花材 ドライバンバスグラス、 スパイラルバンブー、

ドラセナ類、ゴットセフィアナ





Shinran 550

-- 〈2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ〉--

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2021年9月1日

編 集 教化委員会広報・出版部門

発 行 真宗大谷派東京教区教化委員会 〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館 TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。



もくじ

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚事業

分断から再生へ

●03 ―教えに出遇うための再出発を― 酒井 義一

特集 教区坊守会 新会長に聞く

- ●05 坊守として歩む 平松 敬子
- ●12 教区坊守会 前会長ご挨拶 荒川 縁
- ●13 法語ポスター

教区教化通信 教区門徒会 柴﨑 光

●14 教区門徒会長·副会長 挨拶 平林 勝司

教区教化通信 教学館

●15 私の出遇った言葉 渡邉 尚康

教区教化通信 研修部門

●16 聖典学習会 講義ノート

はい!こちら真宗会館です

●18 駐在日記 渡邊

はい!こちら真宗会館です

●19 所員のつぶやき 菊巒 顕純

はい!こちら真宗会館です

- ●20 人事異動挨拶
- ●23 敬弔・涌 田宮 真人

一〈2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ〉―



参南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう





―〈2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讚テーマ〉―

♥南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

分断から再生へ

―教えに出遇うための再出発を―



「教学・教化に関する小秀員会」主査讃法要基本計画に関する小秀員会」主査教区慶讃事業企画運営委員/宗務審議会「慶

慶讃法要どころではない?

た。しかし、「慶讃法要どころではない」とい本山での法要まであと1年半ほどになっ

の声である。 新型コロナウイルスの感染拡大う声も聞く。新型コロナウイルスの感染拡大 の声である。

広がる苦しみや悲しみ

理的にもつらく厳しい現実を生きる人々。人勢への不満や不信感も広がる。経済的にも心感染者やその家族たちへの差別的な扱いもすることや感染させることへの不安がある。

苦しみや悲しみが広がっている。にはならない現実の中で、人々の中に不安やとの分断、ふれあいの無さ。まさに思い通り

世の中が悪世であればあるほど

これは、親鸞の教えに生きた仲野良俊師の言葉である。世の中が悪世であろうとなかろうと、本願そのものに変化はないのだろう。たこにある。今、世の中はまるで悪世のようだ。しかし悪世だからこそ、ますます本願はだ。しかし悪世だからこそ、ますます本願はだ。しかし悪世だからこそ、ますます本願はだ。しかし悪世だからこそ、ますまであれば、今こそ光り輝く本願に出遇う時、ということだろう。

慶讃法要のもっと先に

分断・孤立・閉塞した状況から、仏法を中心それはコロナによって露わになった人間の今は違う。目標はもっと先にあるのだと思う。大きな目標となっていたように思う。しかし、大きな目標となっていたように思う。しかし、さて慶讃法要であるが、コロナという時代さて慶讃法要であるが、コロナという時代

関係を再生すること。そして生々溌溂たる真 めしていくことが、今の私の受け止めである。 のひとつの再出発点として、慶讃法要をお勤 とした、あたたかな血の通ったサンガ=人間 宗教団を再生していくことにある。そのため

慶讃法要の願い

りの慶讃法要をお勤めしていくことをあき うか。そのような願いを受け取り、一人ひと らめてはならないと思う。 要に込められている願いなのではないだろ る教えに出遇うということ。そのような時を、 の苦悩を深い仏縁として人間を照らし続け た者は苦悩を抱えるということ。そして、そ 生と立教開宗。それは、人間として生を受け 人ひとりが自分の時とすることが、この法 そもそも慶讚法要とはなにか。それは、誕

分断から再生へ

うならないために、やがてやってくるポスト 滅していくことは避けなければならない。そ 然消滅するかのように浄土真宗の、灯が消 るだろう。その時になって、何もできず、自 いは今のように怖れなくてもよい病気にな コロナはいつか必ず落ち着くだろう。ある

> あるだろう。 べての人間が本質的に願っていることでも ウォーミングアップをしていきたい。 それは コロナを想定して、真宗再興、真宗再生への 分断から再生。断ち切られたつながりを再び つなぐ営み。ちなみにそれは、今を生きるす

の生の聞法会と生の懇親会を行ってみる。教 講座をしてみる。長い間出来なかったお寺で 想してみる。例えば、自坊独自で推進員養成 思いつくままにポストコロナの動きを妄

> 遇う歩みの実践を、その根底にいだきながら。 くて、分断された人間関係の再生、教えと出 …。慶讃法要を勤めることが最終目標ではな ご門徒と共同して慶讃法要を厳修してみる えに触れる連続法話教室をしてみる。 。自坊で

ち一人ひとりの慶讃法要。それらを、仏法や して歩んでいきたいものである。 **公間とのつながりの再生、人間回復への道と** 本山の慶讃法要、教区での慶讃法要、私た

今後の慶讃事業予定

慶讃法要の意義を学ぶ研修会

期 日 2021年10月15日 (金) 14時~15時30分

【**開催方法】**YouTube でのライブ配信(下記QRコードからアクセスできます。)

お 話】酒井義一氏 (東京5組 存明寺)

教区慶讃事業企画運営委員/宗務審議会「慶讃法要基本計画に関する委員会」 会長代理 教学・教化 に関する小委員会」主査

白山 勝久 氏 (東京5組 西蓮寺)

教区慶讚事業企画運営委員/慶讃法要テーマに関する教学検討委員会委員

柴﨑 光氏 (茨城1組 一乘寺門徒

教区慶讚事業企画運営委員/教区門徒会長

※詳しくはチラシをご覧ください。







坊守として何が出来るのか。 教法を広め、門徒さんと共に法灯を護ってい 定められているように、教えを聞く者として ではなく、坊守は、「教法を聞信し、門徒との ぶのではないでしょうか。 しかし、 それだけ 偶者とは限りません)というイメージが浮か 預かる者」「お寺の奥さん」(坊守が住職の配 交流を緊密にして、寺院、又は教会の興隆発 展に努めなければならない」と法規のなかに にしてお寺を開いていくか。また、それには く大事な務めがあります。そのために、如何 「坊守」という言葉からは、「お寺の留守を

守としての歩みや寺院における活動などにつ いてお話を伺いました。 た、

平松敬子氏(東京4組・

東行寺)に、

坊 今回、新たに教区坊守会の会長に就任され





東京教区坊守会 会長(平松 敬子)

(東京4級

はじまりはお寺の子ども会

た。子ども会に小さい頃から通っていたことでしきっかけは、近所にある手次の信興寺さんのきっかけは、近所にある手次の信興寺さんの私は名古屋の在家の出身で、真宗に触れた

夏休みになると1日に3、4ヵ寺のお寺を回学校をしているお寺が本当に多かったので、おうになりました。名古屋教区では、日曜のスタッフになり、母の実家の手次である林のスタッフになり、母の実家の手次である林のスタッフになり、母の実家の手次である林のスタッフになり、母の実家の手次である林のスタッフになると同時に児連(児童教化連盟)

りしていました。

りしていました。

がいれるような大きな人形を使って演じた

がいれるような大きな人形を使って演じた
のレパートリーをいくつも持っており、人形
のレパートリーをいくつも持っており、人形

山へ行くようになりました。を経て東海連区研修に参加し、最終的には本をんな日曜学校の巡回からはじまり、教区

大学3年生の夏に、「同朋ジュニア大会」で大学3年生の夏に、「同朋ジュニア大会」でがった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えてかった胸のざわざわ感のようなものを抱えて大会」で大学3年生の夏に、「同朋ジュニア大会」で大学3年生の夏に、「同朋ジュニア大会」で

で、そうやってスタッフをさせていただく中で、 ということだったなことを漠然と思っていました。 今考えれば、本山で出会う人たちに近づきたいというようなことを漠然と思っていました。 今考えれば、 をれが「真宗を学びたい」ということだった。 のかも知れません。



本山での同朋ジュニア大会の様子

「遇う」ということ

という和田・棚、先生をご講師としてお招きしていらっしゃった尾畑で正さんのお寺へしていらっしゃった尾畑で正さんのお寺へで出会った方に勧められ、同朋大学の学長をで出会った方に勧められ、同朋大学の学長をで出会った方に勧めの三重教区になります。本山実家のある名古屋市港区は、長島大橋を渡実家のある名古屋市港区は、長島大橋を渡



ていた聞法会に参加させていただき、先生のていた聞法会に参加させていただき、先生のに真宗に触れた」瞬間だったと思うんです。「真宗に触れた」瞬間だったと思うんです。と聞いて、横須賀で開催されていた有志によと聞いて、横須賀で開催されていたするようと聞いて、横須賀で開催されていただき、先生のいました。だから言い方はすごく変ですけれいました。だから言い方はすごく変ですけれども、私は和田先生の「追っかけ」をしていただき、先生のていた聞法会に参加させていただき、先生のていた聞法会に参加させていただき、先生の

けることを大変嬉しく思っています。の方々と、今なおご一緒に活動させていただまた、その当時本山でお会いした東京教区

突然の坊守就任

守にならざるを得ませんでした。
(**)、本当に突然、坊守になってしまいました。
(**)、本当に突然、坊守になってしまいました。
(**)、 お婚したその年に前住職(義父)が亡くなると同時に 結婚したその年に前住職(義父)が亡くな

に通わせてもらいました。名古屋は月忌参りより1年間、実家から名古屋の同朋大学別科話は前後しますが、実は結婚した年の4月

来ていただいていましたが、住職だけでなく 来ていただいていましたが、住職だけでなく 坊守もお勤めに伺うことが多いのです。そう した法務の現場もあるので、坊守が得度だけ でなく教師資格をいただく需要が多い土地柄 なんです。仏教専修の別科は1年の短期間で なんです。仏教専修の別科は1年の短期間で なんです。仏教専修の別科は1年の短期間で なんです。仏教専修の別科は1年の短期間で なんあ多く、主婦層も通学しやすい時間割が組 んも多く、主婦層も通学しやすい時間割が組 まれていました。

おります。
「せっかく寺に嫁ぐんだから、しっかり仏教「せっかく寺に嫁ぐんだから、しっかり仏教

就任して29年目になります。とないことですが、気がつけばもう、坊守にと明大学で本当に学べたのか、未だに心も

※『寺院教会条例』に、「住職又は教会主管者が欠が追加された。

こ門徒のお支え

というによってきた頃の自坊は、 連れ合いが京都から戻ってきた頃の自坊は、 では、 が入寺した当時はちょうど、徐々に門徒されが入寺した当時はちょうど、徐々に門徒さんが集まるようになってきたところでした。 人が集まるようになってきたところでした。 をの後、婦人会も結成され、休止していた報 をの後、婦人会も結成され、休止していた報 といった状態だ

このお斎づくりでは、とても鍛えられましたね。婦人会の方々は、私にしてみればお姑たね。婦人会の方々は、私にしてみればお姑さんの集まりでしたから(笑)。「その切り方さんの集まりでしたから、それだとベタベタに「油の温度が低いから、それだとベタベタに「油の温度が低いから、それだとベタベタにてこなかった私は、料理の面ではとても苦労てこなかった私は、料理の面ではとても苦労てこなかった私は、料理の面ではとても苦労てこなかった私は、料理の面ではとても苦労なる」とか…。嫁いで来るまで実家で何もした。そのお斉だはからみんなでお寺を盛り上港坊守が来たんだからみんなでお寺を盛り上港坊守が来たんだからみんなでお寺を盛り上でいこうという雰囲気を作ってくださいました。

いかねばならない大きな課題ですね。世代が替わって継承がうまくいかなかったり世代が替わって継承がうまくいかなかったり



報恩講のお斎づくり(1998年11月)

大切にしていること

とだと思っています。 とだと思っています。 とだと思っています。 の私は、門徒さんのお顔 嫁いできたばかりの私は、門徒さんのお顔 ない、とりあえず表面的であっても大事なことが、とりあえず表面的であい状態からのス

お寺に来てみて「寺の敷居の高さ」というおかこちらが「お客さん」にしてしまってう度は嫁という立場でしたから余計にそう思関わりは、そのほとんどが子ども会でしたし、関わりは、そのほとんどが子ども会でしたし、関いこちらが「お客さん」というお寺に来てみて「寺の敷居の高さ」といういるのではないでしょうか。

希薄さにもつながってしまっている面があるお寺との物理的な距離が、精神的つながりのさんがほとんど住んでおられないことが多くす。特に東京都心部のお寺では、近隣に門徒然に「わたしの寺だ」という雰囲気がありまお華東を作ったり…。お客さんではなく、自地方では門徒さんと一緒に仏華を立てたり、地方では門徒さんと一緒に仏華を立てたり、

お寺の大切なつどいと考えています。仏具お磨きボランティアといった諸活動は、と思うのです。その点からも、お斎づくりや

いますね。

今は、お斎づくりは出来なくなりましたが、今は、お斎づくりは出来なくなりましたが、

もう一つは、「傾聴」ということを大切にしたかさわざれるが、やはりお話がしたい人だと思うんれる方は、やはりお話がしたい人だと思うんれる方は、やはりお話がしたい人だと思うんたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然ぶわーっと溢れたかったコアな部分が、突然がしたいと思っています。決していたいと思っています。決している方に関していないんですけれども…。「言うはことはしていないんですけれども…。「言うはことはしていないんですけれども…。「言うはことなっています。

ようと心がけています。 そういうことを「基本」の「基」の字にし



オンラインの試み

した。 コロナが世界的に流行し始めて、人の行き はた。東京4組の例会や坊守会でも、オン ました。東京4組の例会や坊守会でも、オン ました。東京4組の例会や坊守会でも、オン ました。東京4組の例会や坊守会でも、オン ました。東京4組の例会や坊守会でも、オン

法要でした。
という要望があり、インターネットを使用いという要望があり、インターネットを使用でいて、どうしても一緒に法要をお勤めしたでいて、どうしても一緒に法要をお勤めした。

て抵抗があったみたいですけれども、やって で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 で子育てや介護で家を離れられなかった人や、 でいあところです。 でいるところです。

はないかと考えています。東後もオンラインという選択肢は残すべきで勝るものはありません。しかし、コロナの収する、ご一緒にお斎をいただくということにもちろん、実際に膝を突き合わせてお話し



コロナ禍でのお盆法要の様 子。

す。 午前・午後の2座制にして、 仏間モニター席(上の写真) からも参拝。さらにインター ネット配信で多くの方がお 参りすることが出来た。

地域に開かれたお寺を目指して

事行寺がある新宿区には、「ファミリーサポート」という、お子さんをお預かりするサート」という、お子さんをお預かりするサート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするサーート」という、お子さんをお預かりするがある新宿区には、「ファミリーサポート」という。

お寺で留守番をしながら出来ることはないかと考えた時に、「そうだ、子どもたちを預かかと考えた時に、「そうだ、子どもたちを預かがと考えた時に、「そうだ、子どもたちが集まれる場というか、お寺を開放して、子どもを預かりながらお母さんたちが集まれる場というか、お寺を開放して、子どもを預かりながらお母さんたちの話を聞いたり、お寺で一緒にご飯を食べたり、お寺で出来なくなってしまっていて寂しカロナ禍で出来なくなってしまっていて寂しかんですが…。

対象にした「子ども茶道教室」などは、門徒また、「ピラティス教室」や、小・中学生を

誠。さんの言葉を最近教えてもらいました。 さん以外の方の出入りもあります。 *****| イーネットになる」という社会活動家の湯浅 「平時のつながりづくりが非常時のセーフテ 「あそこに行けば住職がいる。坊守がいる。

来ることは、実はたくさんあるんじゃないか 界がある」ということに尽きるのでしょう。 うるには、本当に開かれた関係というか、や なと思っています。 そしてそのために、坊守としてお寺の中で出 関係が開かれるのは、「ともに手を合わせる世 はり信頼がないと難しいことです。そういう お寺がこの「セーフティーネット」になり

ピラティス教室の様子







ていけばいいなと…。

ほっこり気持ちが安らぐ」。そういう場になっ

行けば話を聞いてもらえる。話をしなくても、

千家の師範をされている門徒さん 「文化の継承」という願いもある。

子ども茶道教室の様子。 に指導をお願いしている。 近年、和室のない家が増えている中

る気構えがある訳ではありませんでした。そ

正直なところ、私には慶讃法要をお迎えす



そ私自身が「お客さん」になっているなと感 を進めていきたいと思います。 とって慶讃法要とは何か?」。私自身に響いて 会」がオンラインで開催され、 年の6月13日、東京教区での「お待ち受け大 きもせず、当然のこととしている私です。来 ご縁をいただいていること」の有難さに気づ じました。 ありました。この言葉を聞いた時に、それこ を抜きにすれば、何も始まらないのです」と とは何か。この一点が抜け落ちると、もう慶 をお迎えすることが決まっていますね。「私に 讃法要も見物の対象でしかありません。 自分 だきました。そこには「私にとって慶讃法要 くる言葉を大切に、今からお待ち受けの歩み んな中、『同朋新聞』6月号の池田勇諦先生の - 慶 喜奉讃に起つ」のお話を読ませていた 「人として生まれたこと」や「親鸞聖人の 池田勇諦先生

慶讃法要を迎える
 にあたって

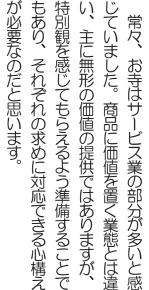


聞法会の縮小、 と思います。 を一緒につくっていくことが出来れば幸いで の会」と感じていただけるような教区坊守会 様からご意見を寄せていただき、「自分のため います。厳しい状況下ですが、ぜひ多くの皆 の存在意義そのものが改めて問いかけられて の坊守会役員の方々もご苦労されてきたこと 時間帯など、運営上の工夫も必要です。 歴代 までの距離、 も80人くらいなんですね。1都8県という大 坊守の研修会に出て来られている方は多くて きな教区ですから、真宗会館などの研修会場 教区で480ヵ寺くらいお寺がある中で、 兼業されている方の参加し易い いまコロナ禍にあって、行事や 仏事の簡略化も加速し、

添えをどうぞよろしくお願い致します。 尽くしてまいりたいと思います。 ばかりですが、これからの2年間、 事ばかりお話ししてしまい申し訳ありません。 教区坊守会長という大役をお引き受けし不安 最後に、インタビューとはいえ、今回は私 皆様のお力 私なりに

Network

編集員所感



門の中の教化を担う聞法道場、 ないのだと思います。 手、不得手が如実に表れてしまいますが、 も持ち合わせています。これらは寺族側の得 作りのきっかけをこちらから閉ざしてはいけ 更にいえば、一般的な自営業とも違い、 場作りの側面

のかもしれません。 るかどうか。その場を楽しくする方法は、 る人にとって価値あるサードプレイスになれ 分の身をどこに置くかで決定付けられている お寺がご門徒にとって、また繋がりを求め

(東京3組 忠綱寺 渡邉 尚康

取材·田宮研

『同朋新聞』6日記事の中で触り れられた



可能です。 は、YouTube でも拝聴が の池田勇諦氏のご法話 『同朋新聞』6月号掲載



【真宗本廟お待ち受け大会・本廟創立七百五十年記念大会(4月5日)】





教区坊守会長の活動を振り返って」 東京教区坊守会 前会長 (東京7組 瑞法寺 荒川 縁

役員が決定されたことに深く安堵いたしてお ご出席を含めて臨時会が開催されて、新しい ました。本来であれば昨年の6月末までに新 年遅れて行われました。新会長に平松敬子様 ながら、旧役員が暫定的に留任してまいりま ような中で、教務所の皆様と協議の上、異例 を開催できない事態となっていました。その 館に集まることもできず、新会長選出の会議 ロナ禍の中で、各組の新坊守会長様が真宗会 役員を選ばなければなりませんでしたが、コ が就任され、役員の皆様もそれぞれ決定され この度、教区坊守会の役員選出臨時会が1 しかし、ようやく今般、ネット上での

感謝を申し上げます。 恵を出して下さった旧役員の皆様方に支えら 守様方のご協力をいただき、また様々なお知 れて何とか勤めさせて頂きましたことに深く をお引き受けして参りましたが、教区内の坊 2014年7月以来7年間にわたって会長

ての真宗の形でありました。 日本のどの宗派にも無い唯一の在家仏教とし 他人事とせず、寺族共々に聴聞してきたのが、 袈裟を掛けた住職が本願念仏を説き、仏法を えられたのが恵信尼公でありました。まさに 聖人の御内室であられた恵信尼公のお姿に重 したが、妻として母として日々の暮らしを支 を聞き開いていく生活を選ばれた親鸞聖人で ねられてきました。家庭生活の中で本願念仏 「おむつ」が干してある庭を眺めながら、墨 さて、坊守という存在は、とおく宗祖親鸞

でした。教区報恩講や教区同朋大会に集う多 うな私を少しかえたもの、それが坊守会活動 事としてきたのが私自身でありました。それ しいことですが、興味はあるけれど、今ひと は生業であり、家業であったのです。そのよ つ自ら足を踏み出せないでいた、仏法を他人 しかし、このようなことを申すのも恥ずか

> 皆様。各種坊守会研修会での楽しい思い出。 交流などです。 真宗大谷派坊守会連盟や東北連区の人々との くの御門徒や熱心に企画運営に携わる寺族の

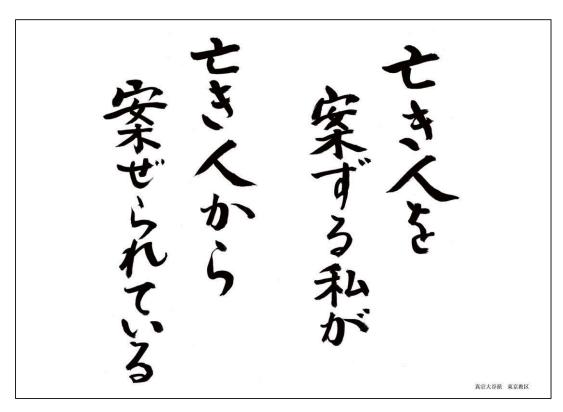
ていった経験でした。 心地がしたものです。 家業という意識が薄れ しさを感じていた世界から大海に漕ぎ出した ような、山国の少女が初めて海を見たような 自坊とか組とか、なにかに囲われた、息苦

申す場がようやく開かれたような心地を頂戴 されていたこの私に、寄りそうように念仏を りの悪い、理屈の分からない、劣等感に悩ま た、近田昭夫師の御化導に接してから、仏法 身を通りぬけたことが尊い」と説いて下さっ かでも、「右の耳から左に抜けても仏法がこの 本願念仏のいわれを御聴聞されて下さい。 くの坊守様方も新しい会長様のもとに集い、 いたしました。人の集いは人を変えます。多 研修での様々なお話も身に沁みました。な 「勉強」にこだわっていたせいで、物わか

ました。 礼を申し上げます。教区の皆様お世話になり ずく坊守会担当の佐々木さん、白川さんには 言葉に尽くすことはできませんが、改めて御 最後に教務所長はじめ所員の方々、なかん



今月の法語



書:佐藤 多仙

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ) 「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。

詳細は東京教務所まで。

教区教化通信 教区門徒会

教区門徒会 会長

门徒会 会長・副会長 挨拶

しました。



(茨城1組 一乘寺 門徒)会長 柴﨑 光

全てはご縁あってのことです 全てはご縁あってのことです が、この数ヵ月の変化には目まが、この数ヵ月の変化には目まが、この数区門徒会臨時会で 佐抜前副会長の後任職を拝命し、その責任の重さを感じていたところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 たところ、7月7日の高橋前門 は、その数区門徒会長を拝命いた

さて、世の中はこの2年弱で大きく変化しました。同時に変化に対応した社会が急速に形成されています。オンライン会議がこれほど一般的になるとは想像できたでしょうか? 今、宗門は少子高齢化や核家族化、虚礼に少子高齢化や核家族化、虚礼を止や仏事簡素化など大きな変化の只中にあります。また、宗祖化の只中にあります。また、宗祖代の只中にあります。すた、宗祖代の只中にあります。すた、宗祖の日本のとは、一般の日本のとは、一般の日本のとは、一般の日本のという。

願い申し上げます。

支援・ご鞭撻のほどよろしくお努力して参る所存ですので、ご努力して参る所存ですので、ごが、先達の轍を振り返りつつ、変が、先達の轍を振り返りつつ、変が、先達の轍を振り返りないます。

副会長 平林 勝司

此度、東京教区門徒会副会長の皆様方と意思疎通を図り、教務所の藤田所長様はじめ教務所務所の藤田所長様はじめ教務所務所の藤田所長様はじめ教務所の皆様方と意思疎通を図り、東京教区門徒会の皆様のために、東京教区門徒会の皆様のために、東京教区門徒会の皆様のために、東京教区門徒会の皆様のために、東京教区門徒会の皆様がと意思疎通を図り、教の皆様方と意思疎通を図り、教の皆様方と意思疎通を図り、教の皆様方と意思疎通を図り、教の皆様方と意思疎通を図り、教

ります。会員の皆様の健康を祈 が、リモートとリアルの両面で 会いする機会が少なくなりまし 考えております。ご協力の程よ のお顔を拝見したいと思ってお 出来るだけ行事は開催し、皆様 た。まだまだ収束は見えません 中、行事の多くが中止となりお と考えております。 解決の方向を見出していければ 話合い理解を深め、 睦を深め、様々な問題について めます。教区門徒会員同志の親 ろしくお願い申し上げます。 区門徒会のスムーズな運営に努 元気に活動致したいと コロナ禍の 出来得れば

選出されましたのでご挨拶申し上げます。

た教区門徒会にて、会長、ならびに副会長が寺) のご逝去につき、7月20日に開かれまし

教区門徒会会長、

髙橋義人氏

(東京

一敬覺



私が出遇った言葉



渡邉 尚康



善悪なしでは生きられない

私たちの在り方

解の元に、自身の考えを差し挟んでいるかと 度できると思っている。しかしながらその理 ている暗記、知識の集積に過ぎない。 いえばそうではない。小さい頃から仕込まれ 与えられたものを理解することは、ある程

けの世界を持ち合わせてはいないが、唯円大 して提示されている。まだ私は解きほぐすだ 心、念仏、善悪と様々な言葉をキーワードと 第一条では、弥陀の本願、往生、たすけ、信 までのようにいくつかの条を暗記すること た背景に触れていく過程において、自身の や、語句の説明を見て理解・分析していくの 世界観を通して書かれた親鸞聖人である。今 ではなく、書いたものの世界を感じ、書かれ 「真宗の歩み」が構築されていくのだと思う。 『歎異抄』の中の親鸞聖人は、唯円大德の

> たのだろうと考えられる。 えた、「超量」 として阿弥陀佛と関わっていっ **徳においては、有量・無量という対概念を超**

でいるという内観をした。 げ、善い・悪いと分けていく面を多分に含ん というものであった。一度きりの対面では、 る。言い分があれば下記宛名まで返されたし 教え広めるのを止め、すぐにでも改宗を勧め のです。真宗は人を惑わす邪宗であるので、 はあるが、自身も他宗の一部分のみを取り上 腹の底まで見えないのは当たり前のことで は「過日、貴寺院にて開基の説明を受けたも 先日、ある

一通の

手紙が届いた。

文の内容

れていた。生を受けてから常日頃、善悪に捉 衆生関係、娑婆世界の善悪を問わないといわ 講義の中で『歎異抄』では対人間関係、対

> 中で自身の立場が問われ続けている。 準に立つのではなく、善悪を超えたもの、阿 や信心が第一というような人間側の善悪基 り方に対し、唯円大徳は阿弥陀佛の智慧と慈 われ、善悪なしでは生きられない私たちの在 阿弥陀佛の本願の信に依るのか、苦海のただ とはいえ、その信が自見の覚悟であるのか、 弥陀佛を心に立てるのかどうか。 「ただ念仏」 悲を鮮明に打ち出している。念仏が第一、い

第 25 □ 教学館月例研修会(オンライン開催) 2021年7月7日~8日

基調講義:眞宗原論

に立ちての私論 -阿弥陀佛と知の被限定性の臨界点

特別講義:「葬送儀礼の変容と現代的課題 西田 眞因 氏 (元教学研究所所長)

山田 慎也 氏

(国立歴史民俗博物館広報連携セ ンター長・研究部 民俗研究系

教区教化通信 研修部門

聖典学習会 「正信偈」に学ぶ

講師:一楽 真(大谷大学教授)

学習会」はご門徒もご参加いただけます。 いただけることを願っております。「聖典 会」での学びの報告と、多くの方にご参加 りではございますが、皆様に「聖典学習 す。今号より講義抜粋を掲載いたします。 場として「聖典学習会」を開催しておりま 講座途中からの掲載になり、心苦しい限 研修部門では、僧分、寺族の教学研鑽の

道綽決聖道難証 万善自力貶勤修 唯明浄土可通入 円満徳号勧専称

像末法滅同悲引

三不三信海慇歎

一生造悪値弘誓 至安養界証妙果

ただ浄土の通入すべきことを明かす。 道綽、聖道の証しがたきことを決して、 万善の自力、勤修を貶す。 (書き下し文)

> 安養界に至りて妙果を証せしむと、いえり。 像末法滅、同じく悲引す。 三不三信の誨、慇懃にして、 円満の徳号、専称を勧む。 一生悪を造れども、弘誓に値いぬれば、

■道綽禅師、聖道・浄土の二門を立てて

です。

のかたちなのです。 の教えも組み込まれていたというのが、元々 並んであるものではなくて、聖道の中に浄土 です。ですから、聖道と浄土は初めから二つ めの道のひとつとして位置づけられていたの その中に、浄土の教えも聖者になっていくた という、聖者になっていく聖道の教えです。 れて、清らかな心を持ち、清らかな道を歩む 仏教といえば、迷いにいる凡夫が仏法に触

楽集』の言葉を引用して「道綽禅師、聖道・ しかし、法然上人の『選択集』の冒頭に『安

> らず成仏できるとあるのに、迷いを超えられ と言って、浄土に聖道と並ぶほどの位置を与 ないのはなぜかという実際の自身の問題を抱 とを明示されたのです。 え、そして聖道の教えでは間に合わないこと、 浄土の二門を立てて、しかも聖道を捨てて正 本願他力の仏道に転身されて回心されたから えていた道綽が、曇鸞大師の事績に触れられ、 浄土の教えでなければ迷いを超えられないこ 禅師は、迷いを超えるために「二種の勝法」 しく浄土に帰するの文」とあるように、道綽 『涅槃経』について、みな仏性あって一人残 それは「一切衆生悉有仏性」が課題である

■聖道を捨てて正しく浄土に帰する

まっているため、そして聖道の教えの道理は りかたは自力とおさえ、お釈迦さまがお亡く あるように、今は末法であるという自覚に立 土の一門ありて通入すべき路なり」と、浄土 かであるため、「聖道難証」とされ、「ただ浄 大変深く、それを領解していくことが大変微 なりになられて、すでに長い期間が経ってし っていた道綽は、「在此起心立行」の聖道のあ 「当今、末法にしてこれ五濁悪世なり」と



にされたのです。 の教えこそが涅槃・成仏に通入すると明らか

比叡山で二十年修行に励まれていた親鸞聖人 のかということが証明し難いということです。 むけれども、それが本当に迷いを超える行な く、一生懸命経典を読誦して、厳しい行を励 た。これは不真面目であるという意味ではな かどうかを証明し難い」と読んでおられまし の問いもまさにそこにあったのでしょう。 ついて、曽我量深先生は「聖道は仏教である 聖道門はさとりを得難いという「難証」に

■日本における「浄土宗独立」

う言葉でおさえられてきたことですが、一つ 集』もやはり浄土を立てていかれます。 土を立てたのです。 聖道門の中に「寓宗」として埋もれていた浄 の宗派を開いたという意味ではありません。 上人が果たされたのです。法然上人の『選択 このことは、先達方が「浄土宗独立」とい 道綽と同様の役目は、日本においては法然

自力」、我々の積み上げた行でさとるのか、そ れとも「円満の徳号」、阿弥陀によって迷いを を申していく道は、質が違うのです。「万善の たくさん修行するという道と南無阿弥陀仏

> ようとされたのです。 生きてはたらく仏教は何かという要を確かめ 超えることができるのか、本当に私のうえに

■道綽による称名の勧め

れる背景には道綽がいます。それは 依善導一師」でしたが、この善導が生みださ 『選択集』にもある通り、法然上人は「偏

かれたからです。 としておさえ、そして『観経』の下品下生を を「十念相続が称我名字」と、つまり「称名」 とあるように、善導に先立って、道綽が『観 経』を中心に読まれ、『大経』の「乃至十念」 「一生造悪の衆生」とおさえて読みといてい ずば正覚を取らじ」 相続して我が名字を称せんに、若し生れ 生悪を造れども、命終の時に臨みて十念 『大経』に云く。「若し衆生有りて縦令一 (『安楽集』)

その道綽のお仕事を

縦令一生造悪の

衆生引接のためにとて 称我名字と願じつつ

Ł 親鸞聖人は和讃で詠われています。 (『高僧和讃』真宗聖典495頁)

若不生者とちかいたり

■道綽から善導・法然・親鸞への展開

受けて、第十八願を衆生の称名念仏と読んで いかれます。 も成り立つという意味で、道綽・善導の意を 称える称名念仏は、分け隔てなく誰のうえで たもとは道綽にあるのです。 南無阿弥陀仏と 漏らさない法蔵菩薩のご本願であると読まれ 法然上人が『大経』の第十八願を誰一人も

聞名に重きを置いていかれます。 て私たちは阿弥陀の喚び声を聞かせてもらう 称名としておさえ、その諸仏のお勧めを通し 親鸞聖人はそこからもとに返して、諸仏の

(文責:研修部門)

今後の聖典学習会の日程

2021年

10 月 25 日 月

12 月 13 日 **月** 午前・午後

2022年

2 月 15 日 火

4 月 11 日 月

6月6日 月

※お申込み、詳細については、東京教務所(担

当:渡邊楽)まで

はい! こちら真宗会館です



駐在からひとこと 最近読んだ本 『ハワイに渡った海賊たち 周防大島の移民史』 堀 雅昭 著



東京教区駐在教導渡邊

来年100周年を迎える全国水平社は、1922(大正11)年3月3日、京都市公会堂(当時)にて歴史的な創立大会が行われ結成された。

これは1871(明治4)年の8月28日に「太政官布告」として出された「解放令」から50年を経てのことである。

歴史書を紐解けば、最初の案は1969(明治2)年12月に民部省改正掛に在籍していた渋沢栄一より大蔵大輔大隈重信(当時、民部省と大蔵省は事実上統合されていた)にあてて提出された戸籍に関する草案であったという。さらに、この案をほぼそのまま継承した「戸籍編成例目」が翌1870(明治3)年3月に正式に大蔵省から太政官に提出されたが、戸籍を大蔵民部省(前著による俗称)が行うことに東京府知事大木喬任を始めとして地方官が反対したことから実現しなかったようで、大木は大江卓の献言を受けて「穢多非

人」の解放の基本方針には賛成するが、 生活改善事業と並行して漸進的に行う べきであり、今回の戸籍制定には関連 づけないとして、1871 (明治4)年 4月4日に「穢多非人」を先送りにした ままの戸籍法が制定された。同年8月 28日の解放令公布の後、明治政府は 実質的な解放政策を一切行わなかった ことは、これ以後の動きも鈍く指摘は 拭えない。奇しくも明治政府が「真宗」 の公称を認めたのが同時期の1774 (安永3) 年からはじまった所謂宗名 事件・宗名論争に一段落ついた頃でも あるが、ここでも登場するのが明治2 年11月4日に民部省租税正に任命さ れ、以来約3年半にわたり明治政府で さまざまな改革を手がけていた31歳 の渋沢栄一の献策によるという説があ る。

毎週日曜日の夜8時に NHK 総合チャンネルを観ているが、先の2つのことには触れないようである。



はい!にちら真宗会館です





教区雇員 菊巒 顕純

担当:門徒用授与物 • 帰敬式事務 •

教区報恩講事務

好きなアーティスト: miwa・the pillows

今年の3月に京都の大谷大学を卒業 し、4月から教区雇員として働き始め て早5ヵ月がたちました。最近年々1 年がたつのが早く感じるようになって きていると感じていましたが、特にこ の5ヵ月はとても早く感じました。新 しい環境になり、初めてのことだらけ だったからなのかなと感じています。

大学の4年間も早かったように思いますが特に4年生の年は早かったと思いました。私が4年に上がる時期にコロナの流行が拡大し始め、最初の緊急事態宣言が発令されました。気が付けばそこからもう1年半がたっており、改めて時がたつのが早いことを実感させられました。

コロナの流行に伴って今まで当たり 前にできていたことができなくなって しまいました。外出する際にはみんな 必ずと言っていいほどマスクをするよ うになり、また大人数での外食なども はばかられるようになり、大学や職場 のみんなで外食に行くこともできなく なってしまいました。それでも私たち はその状況に慣れていき、1年以上た った今ではマスクをすることが当たり 前になっています。

私自身もコロナ前は花粉症の季節くらいしかマスクを着用していませんでした。しかし今では人と会う際には必ずと言っていいほどマスクを着用するようになりました。これらのことを考えていた時に、改めて私たち人の順応性の高さを感じさせられました。また私たちが当たり前にあるものだと思っているものは実はとても尊いものであり、有難いものであったのだと実感させられました。

これからも当たり前のことが当たり 前ではないということを心にとめて 日々を過ごしていきたいと思います。

人事異動



組任

昭 き **彦**ご



このたび、6月30日付にて高岡教務所長兼富山教務所長、富山別院輪番を拝命いたし、東京教務所を離任することとなりました。東京教務所を離任することとなりました。所主計兼東京宗務出張所主計として着任し、所主計兼東京宗務出張所主計として着任し、不の後、東京教務所次長の拝命と合わせて5その後、東京教務所次長の拝命と合わせて5年9ヵ月の間、教化事業の推進に携わらせて、6月30日付にて高岡教務所長兼

東京牧区は、首部圏という大部市なとと有り難く厚く御礼申し上げます。

東京教区は、首都圏という大都市を含む1東京教区は、首都圏という大都市を含む1本でまりました。時には、叱咤激励をいたの場でありました。時には、叱咤激励をいたの場でありました。時には、叱咤激励をいたが新たな出遇いであり、学びれ事業の立にであり、私にとっては教をができました。

人事異動とは言いながらも、これから教区として慶讚事業に向けた歩みが具体化し、大きな一歩を踏み出そうという時に離れなくてりますが、全国どこにいようとも慶讚事業の関いは同じであります。そのことを胸に新任願いは同じであります。そのことを胸に新任順におきましても、人との出遇いを大切にし、一層精進してまいりたいと存じます。





山陽教務所長 棚野 大輔



御厚情に対し心より御礼申しあげます。になりました。在職中に皆様から賜りました務所長を拝命いたし、真宗会館を離れることこのたび、6月30日付をもちまして山陽教

着任から2年4ヵ月という短い期間ではありましたが、はからずも真宗会館設立30周年という節目に東京宗務出張所の職員として出去り、東京本願寺の離脱から真宗会館設立に会わせていただきました。その記念座談会において、長年、東京教区を担ってこられた方々おいて、長年、東京教区を担ってこられた方々おが、東京本願寺の離脱から真宗会館設立に至るまでの、宗派や教区の状況についてお話至るまでの、宗派や教区の状況についてお話をお伺いする機会をいただきました。真宗会館が都市型社会における教化の実験の場として、さらに教化センターの役割を担う施設として設立された背景と、携わってこられたして設立された背景と、携わってこられた方々の真宗会館にかけられた願いの一端を伺力をいる。



生において大きな財産となっております。うことができましたことは、私の宗務役員人

の真宗会館に懐かしさを感じ、

お世話になっ

もって御礼の御挨拶とさせていただきます。ころではございますが、略儀ながら本誌面を本来なら拝眉のうえ御礼申しあげるべきと

た方々と再会できることを楽しみにしており





東京宗務出張所次長 里雄 亮意い



東京教務所次長

関き

得さる 道さ

26

年ぶりの勤務で不安もありますが、久しぶりただき誠にありがとうございました。今回10の際に大変お世話になり、また、お育てをい着任いたしました。東京教区の皆様には前任このたびの異動により、東京教務所次長に

通じて、帰敬式や真宗本廟収骨のために参拝所業務を担当させていただき、全国の寺院を前任地の宗務所本廟部では、主に参拝接待

業務に携わらせていただきました。されたご門徒への参拝案内、教化伝道などの

願い申し上げます。 と向かう決意を促されたように思います。 組んでまいりたいと思います。何卒宜しくお 導ご鞭撻を仰ぎながら、一つずつ丁寧に取り とりわけ新型コロナウィルス感染症により、 というはなむけの言葉をいただき、これまで かほどであったかと身が引き締まる思いです。 係を丁寧に築いてこられた先達のご苦労はい 仏の僧伽を求めて一人ひとりのご門徒との関 改めて宗門の歴史の重みを知るとともに、念 務経験や知識だけにとらわれず、皆様のご指 する姿を常に模索し続けている中、自身の宗 大切にすべき伝統と新たな教化の形とが調和 の私自身の在り方が問われ、新たな赴任地へ 自信をもって首都圏教化に取り組んでほしい 真宗会館設立 30 周年の歩みを垣間見る中で、 教化・開教に携わらせていただく身となり、 「真宗の教えは世界に誇れる教えなんだよ。 このたび、東京宗務出張所において首都圏 日々状況が変化し続ける首都圏において、 前任地を発つ際、お世話になった先輩から



本願寺 横浜別院

2021年 「報恩講」について

本年の本願寺横浜別院「報恩講」は、未だ新型コロナウイルスの感染拡大が 懸念されている状況に鑑み、皆様の安全を考慮した結果、東京教区内寺院・教 会、及びご門徒(一部の地域を除く)の皆様には参詣のご案内はいたしません。 毎年、ご参詣いただいている皆様には大変恐縮に存じますが、何卒ご理解を 賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】本願寺 横浜別院 〒234-0051 横浜市港南区日野1丁目10-8 電話: 045-841-3434





敬弔

中村 のぶ子 様

7月3日命終 88歳群馬組 法善寺 前坊守

大内 富久 様

7月6日命終 73歲茨城1組 明超寺 住職

念仏合掌して哀悼の意を表します。生前のご功労を偲び、



涌

「編集員の随筆

入寺するのとほとんど同時だった。 のは約6年前のこと。勤めていた会社を辞め、 私が『ネットワーク9』の編集員になった

年季の入ったものばかりだった。

「本の子ーブルには、会場整備や取材に使用控室のテーブルには、会場整備や取材に使用控室のテーブルでは、会場整備や取材に使用が近がですが、教区同朋大会が文京

初めての取材に、手持無沙汰を感じながられるでで、 「何をすればいいですか?」と訊ねる私に、 「何をすればいいですか?」ところからじゃにあるのか』って考えてみるところからじゃないかな?」と一言。訳もわからず困惑するないかな?」と一言。訳もわからず困惑するないかな?」と一言。訳もわからず困惑するが、ものすごく大事なんだよ」と繰り返した。私は曖昧に返事をしながらも、当時は正直、その言葉の真意がよくわからなかった。

> なっていった。 事あるごとに私を引き留めるキーフレーズと上で、また日常生活を送る中で、この言葉は上かしその後、お寺で法務にあたっていく

経緯を想像してみるということ。まり、その存在そのものの背景にある歴史的けを行なうということではなく、一度立ち止と。それは、自分の都合で価値付けや意味付と。それは、自分の都合で価値付けや意味付と。これがなぜここにあるのか』を考えるこ

を念頭に置いて、誌面を作っていきたい。 「『ネットワーク9』 はなぜここにあるのか」 なだろう。「どんな特集を組むか」より先に、 を流の誌面作りにおいても同じことが言え 本誌の誌面作りにおいても同じことが言え 本誌の誌面作りにおいても同じことが言え なだろう。「どんな特集を組むか」より先に、 すると、すべての物事に先人たちの願いや、 すると、すべての物事に先人たちの願いや、

田宮 真人)

(東京8組 究竟寺